

(様式第2号)

令和4年2月28日

令和3年度経営発達支援計画 事業評価報告書

始良市商工会 御中

始良市商工会  
第三者評価委員会  
委員長 新屋敷 辰美

経営発達支援事業の評価結果について、次のとおり報告します。

項目	商工会評価	委員会評価	コメント
目標	B	B	・商工会コメントと同様だが、コロナ禍での経営発達支援事業の明確な目標があれば尚よい。
a 地域の経済動向調査に関すること	A	A	・事業についてはほぼ達成されているが、今後の改善点等を加味した。
b 経営状況の分析に関すること	B	B	・コロナ禍での事業所個別支援の在り方について、国や鹿児島県、県連等における指針がほしいところである。
c 事業計画策定支援に関すること	B	B	・コロナ禍での県外講師の招聘がうまくいかず未達となった。リモート開催等の工夫がほしい。
d 事業計画策定後の実施支援に関すること	A	A	・事業者数は目標未達だが、支援回数は大幅クリアされており、概ね意欲ある事業者に対する伴走支援は実施されている。
e 需要動向調査に関すること	C	C	・始良市との連携から「あいらブランド」に注力、事業者から一定の好評は得ている。その他の事業者の支援ができていない。
f 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	B	B	・新たな需要の開拓に寄与する事業の目標設定はなかったが、コロナ禍のなかで、適時開催し、一定の効果が出ている。
g 地域経済活性化に資する取組	B	B	・コロナ感染防止対策により、3回中2回の開催しかできなかった。
h 支援ノウハウ等の情報交換	A	A	・計画全て実施し、有意義な情報交換が図られたが、さらに改善を図ってほしい。

i 指導員の資質向上	A	A	・計画全て実施し、資質向上に努めたが、さらなる資質向上を図ってほしい
全体報告（総合評価）	B	B	・コロナ禍での事業所支援は、本来の経営支援はもちろんのこと、コロナ禍における事業継続支援も重なり、また、支援する側、支援を受ける側双方にとって、感染症防止対策などを行いながらとなっており、平時と比べ数段難しい状況にある。その中において、大変実のある支援を実施しており、Aに近いBという評価である。 今後、リモート活用した支援スキル向上を期待したい。

※評価の目安 S：目標水準を100%以上達成した。

A：目標水準を80%以上達成した。

B：目標水準を50%以上達成した。

C：目標水準を30%以上達成した。

D：目標水準の達成度はそれ以下であった。